
杜春会 ミニ通信 第10号 8205

〒980 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部建築学科内 (0222) 22-1800 内4646

仙台では川内の桜が満開で春爛漫といった季節になりました。皆さんの所ではすでにお花見も終り忙しい新年度をお迎えのことと思います。杜春会ミニ通信第10号をお届けします。会員の皆様の御協力、御援助で会の活動もどうやら軌道にのって来ましたこと慶びにたえません。ミニ通信はささやかではありますが会員相互のコミュニケーションの場として尚一層紙面を賑わしたいと思しますので次回から会員の投稿欄を設けることとしました。どうぞ近況、会への御意見、御提案等自由に投稿されるようお願いいたします。(桂記)

□ 第5回杜春会セミナーの御案内

第1回から毎回好評のうちに回を重ねてきました杜春会セミナーも今年度第5回を迎えます。会員の皆様ふるって御参加下さい。

- 日 時 5月22日(土) 13:30～16:30
- 場 所 仙台市青葉山 建築学科建二教室
- 講師と演題 永井 秀次郎(5回生)
「雪国建築と私」
金原 譲(8回生)
「住宅設計へかける夢」

※今回も前回同様コーヒープレイクを設けます。

□会員の集い

(1) ゴミの会報告

ゴミの会（35年卒業生の同期会）も回を重ねること11回を迎えました。卒業後11年目の46年夏に第1回が開催され、以後毎年妻子同伴を原則として7月の最終土・日曜日を定例開催日と決め、当時の先生方をご招待申し上げ懇親会・情報交換等を重ねて来ました。

卒業後20年以上もたちますと、北は青森から南は沖縄まで全国に散っており多数の参加を仰ぐことは大変むずかしくなりました。

やれ、仕事の都合がつかない、部下・知人の冠婚葬祭だ、外国出張だ、遠くにいるため時間がかかりすぎるとかで、段々出席率が下って来ました。発会当初は、妻子同伴者も多く大変賑やかで楽しい雰囲気集りでしたが、日がたつにつれ、今度は子供の学校の都合とか、諸物価・運賃の値上り等で、家族の出席も減って来ました。最近では、会の企画も、男性中心の懇親会と翌日のゴルフ或いは周辺の観光地周遊に定着してしまいました。

昨年は、作並温泉で開かれましたので今年は東京に近いところということで、那須の温泉郷で開催されました。（7月25日～26日）

出席者は、高橋（武）、志賀・寛の3先生、学生は、秋月、佐々木（史）、佐々木（宏）、沢田、繁野、同夫人、関、同夫人、古内、星、増子、丸山の15名です。同期生36人中、10名の出席で、いささか寂しい感がないでもなかったが、懇親会は6時半からスタートし、座敷を追われるまで酒を汲み交わし、思い出話にふけり、近況を語り合いましたが、話は尽きず、ホテル7階のスカイラウンジに席を変え那須連山の夜景を眺めながら変更けまでダベりまくりました。相変らずのゴミ（バカ）振りに先生方も苦笑されたことでしょう。

翌日は2班に分れて、ゴルフをやらない高橋先生、佐々木（史）、秋月の両君、繁野、関両夫人は、茶臼岳を中心にした那須連峰ヘドライブに出かけました。志賀、寛両先生、学生10名は、勇躍ゴルフ場（那須サンランド）へ向いました。朝晩は涼しく大変しのぎやすかったが、日中は連日の猛暑で、きつい日差しにさすがの猛者連も、いささか疲れた様子でした。ハンディキャップは、最近の成績からの自己申告に基づき決定しました。優勝者（丸山、ハンディ20）は2アンダー、2位（関、ハンディ36）、3位（佐々木宏、ハンディ36）は、可成りのオーバーパー。4位以下は、はるかなオーバーという成績で、日頃の練習不足がたたリ、余り自慢できる結果ではなく残念でした。

早速反省会に入りましたが、アルコールの勢いもあり大変騒がしい中にも謙虚な反省の弁がありました。又昨夜の話し足りない分にも話が及び大変盛會に終わりました。

来年は仙台を約し散會しました。

（古内記）

(2) 九州杜春会

昨年9月に、福岡で建築学会秋季大会が行われましたが、その際にこちらにお見えになる先生方や会員と、福岡在住の会員とで懇親会が持たれました。先生は坪井、亀井、志賀、柴田の四方と、桂会長他3名の学会参加の会員、それに地元の吉野氏以下の会員です。小人数でありましたが、久しぶりに顔を合わす方が多く、じっくりと話を交わすことができ、有意義な会でありました。志賀及び柴田の両先生には二次会にも出席頂き、更に話はずみましたが、肝心の学会が翌日からであり、特に志賀先生は学会の副会長で、大会事務局には3日間の毎日を詰めなければならない、という事情もあって、早めに会を閉じました。

さて、例年四月になると人事異動がありますが、会員の少ない福岡から御二方が転動されました。5回生・新日鉄の横塚郷氏は東京に、そして18回生。I N A新建築研究所の大原泰輔氏は高知です。横塚氏は時間がなく送別会が出来ませんでした、大原氏の場合は、当方の間、福岡と往来があるということなので、あまりおそくないうちに、九州大学の青木先生を交えて、同窓会を持つことにしています。

又、福岡在住では、3回生・福岡県住宅公社の吉野恵三氏が、県住宅センターの事務局長となられました。この他は異動がないようですが、在福岡の会員も6名に減って、いささか淋しくなりました。こちらに転動されて来られましたら、在福岡の会員のどなたかに、ぜひ御一報下さい。(坂本記)

(3) 静岡に「杜春会」誕生！！

「トスンカイ」に非ず、我々も歴とした「トシュンカイ」ですぞ。

時は2月20日、ここ駿河の国の三流科亭「あなごや」に集いし面々は、静岡県にちょっとでもゆかりのある者ならたとえ途中下車の貴君でも入会資格ありという極めてオープンな会則のもとに、我も我もと殺倒したつわものどもである。

一昨年誕生したこの杜駿会も、今回2度目の総会で新会員を2名迎え、和気あいあいと酒をくみかわし、ご託を並べあった。

では、メンバーを紹介しよう。

まず会長の五十嵐参男氏。会津生まれながらこの地が気に入る、現世はおろかあの世のすみかまでここに用意されているという静岡びいきの4回生。

中近東でのじゅうたん買付の妙法をものす



(杜駿会)

るは9回生の佐藤和郎氏。

高橋公雄氏(9回生)は東京・浜松を日課の如く往復してなかなかつかまらないオインガ氏。すでにご令息は大学生とかで、40代で孫の顔を見られる可能性ありとの事。

年の順を追っている為、ここで万年幹事の可能性濃厚な私こと岸裕之(12回生)を割り込ませていただいて、ここまでがオジン会員、10余年の落差で次からグッと若くなるのであります。

さて若者頭、23回生の山田嘉朗氏は彫刻の腕もなかなかのもの、彫刻然としたその風貌も「ヒゲ山田」と称されることからご想像を。

初めて現場所長に抜擢されたのは望月信好氏(24回生)、職場での緊張をここではほぐさんとあおり酒。

ヘアバンドにエプロン掛けといったいでたちで図面を引く巨漢杉山聡氏(27回生)は飲食が過ぎて腸カタルを経験、それでも這って参上。

ただ黙々と杯を干すは仙人風情の新会員八木信之氏(29回生)。仙台・静岡を車で往復したるも仙人ならではの業なり。

さて、止むなく欠席の諸氏は次のとおり。

鈴木敦夫氏(24回生)は風邪の為、疋田雄氏(25回生)は現場の為と、いずれもマジメ人間。渡辺雄二氏(26回生)は新婚ホヤホヤ多忙の様子、新会員小倉裕氏(28回生)は現場で釘を踏んで急きょ欠席となる。

かくもバラエティー豊かなメンバーにて、その宴たるや一見の価値あり。

又この会は、年1回の総会の他にも臨時に会をもつことが出来、昨年1月、志賀先生ご来静の折には歓迎会を開いた。今後も臨時総会が増えそうな気配である。

(岸記)

(4) 第26回生(53年卒)同窓会

我々26回生にとって恒例となった同窓会が今年も4月10日～11日にかけて秋保温泉で開かれた。卒業した年こそは行なわれなかったが、54年春から毎年開催され、昨年からは温泉地での1泊宴会という、豪華なものになった。今回は遠い仙台での開催ということで、参加者の数が心配されたが、26名+子供1名という盛大なものになった。このなかには青木、山崎、両夫人、河津君の未来の夫人、そしてめっきり女らしくなった相沢さんと、4名の女性も参加した。

宴会終了後、2次会に、何人かは仙台までいくのではないかと予想されたが全員一部屋で酒をくみかわし、夜のふけるのも忘れて話し合い、一年ぶりの再会を心ゆくまで楽しんだ。

この同窓会も、今後も毎年続けられる予定で、来年は渡辺君主催の伊豆温泉再来年は志

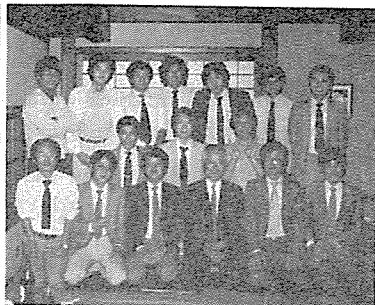
尾崎君で常盤温泉，そして次は東京で，ということが決まった。

来年は東京に近い伊豆での開催です。どういふわけか今回欠席した小棚木君をはじめ多勢の参加を期待しております。

(桂記)



(26回生)



(27回生)

(5) エッ銀座で同窓会!?(第27回生同窓会)

27回生同窓会は昭和56年10月3日(土)東京銀座の和風レストラン「高松別館」で、15名の参加のもと、なごやかに開かれました。

卒業してまだ3年というのに、はや2回め、もはや毎年恒例となった感さえますが(何しろ某先生には、またやるの?といわれました)。当日は、学会など御忙しい日程の中を、志賀先生に御出席をいただき、なつかしい話題に花が咲きました。すでに良き伴侶を見つけた幸せ者も何人かいて次回には二世誕生の話も出そうな気配。「またか?」と言われようとも来年もまたやるぞ!という怪気炎のもと、夜の銀座を何故か素通りし、地下鉄を乗りついで行った新宿で、二次会、三次会……と果てしなく続くのでありました。27回生万歳!!

(北原記)

(6) 第28回生同期会報告

杜春会28回生第3回同期会が、3月21・22日の両日、宮城県作並温泉仙山荘にて開かれました。

かねてより、どこか温泉にでもつかりながら一杯飲もうとの声があり、今回卒業二周年を機に、在京幹事荒井・林両君、在仙幹事相沢君を中心に準備されたものです。当月はお忙しい中、志賀・坂田両先生に御参加頂きありがとうございます。遠くは飛行機でかけつけた富山の青木君をはじめ参加者は20名近くにのぼりました。東京からの参加者も連休で乗車率100%を大きく上回る列車で苦勞されたことと思います。ごころうさま!

一風呂浴び、大広間での酒宴となりましたが、両先生のお話を伺った後、各人の近況報

告となり、実社会での失敗談や修論での苦労話等に花が咲きました。中でも、新婚ホヤホヤの高橋弘君、飛び入り参加してくれた〇〇嬢の話には、皆盃を傾げるのも忘れ聞き入っていました。アルコールが入るにつれ、すっかり学生気分に戻り、記念撮影にてお開きとなった一次会に続き、各部屋にて二次会、三次会……と翌朝まで時間が経つのも忘れて飲み明かしました。朝方、温泉に入り、幸運にも(?!)新婚カップルといっしょになった人がいたとか。



(28回生)

翌日は、学部3年次に内山先生の鋼構造にて見学予定であった鉄骨造のニッカウスキー工場に寄り、宮城県沖地震によりお流れとなった3年来の夢が実現しました。朝から飲み放題のウイスキーを頂き、二日続きの大宴会となりました。

昼に、年一度、四月の第三土曜日にこの会を行うことに決定し、来年の再会を約束し、仙台駅にて散会となりました。今回来れなかった皆さんには、今からスケジュールに入れて頂くことにより、次回も盛大に本会が催されることを祈り筆を置きます。

(猿田記)

藤田金一郎先生が日本建築学会大賞を、また大竹康市君(10回生)が全学会賞を受賞されました。速報としてお知らせします。なお、藤田先生の授賞祝賀会を仙台で6月24日催す予定です。出席希望の方は桂久男(0222-22-1800内線4645)まで詳細をお問い合わせ下さい。

学科だより

陽春の候、会員の皆さんいかがお過しでしょうか。恒例に依り学科の近況をお知らせします。

昨年度は学科、杜春会共々多忙な1年でした。5月には30周年記念事業が盛大に行われました。夏から秋にかけては先ず日本建築学会東北支部の役員改選がありましたが、今までにない激戦ということで学科と杜春会が再び一致協力して臨みました。その結果関係者全員が多数の支持を得て当選しました。また今年の日本建築学会全国大会を東北地方で開催することについては、是非とも仙台でという学科全教官の熱意を東北支部はじめ全国の

仙台開催の支持が実り、本学川内キャンパスを会場とすることに決まりました。現在、内山先生（学会東北支部長）、志賀先生（学会副会長）、佐藤先生（主任教授）はじめ全教官が大会の成功を期し活躍中です。この1年間主任教授としてリーダーを務められた長谷川先生には本当に御苦労様でした。

さて昨年度も学科教官の海外での活動が目立ちました。寛先生（ヨーロッパ）、坂田先生（台湾）、三橋先生（ヨーロッパ）、平井先生（ヨーロッパ）の四氏。志賀先生は中国瀋陽にある東北工学院と本学間の研究交流の調印使節になられ、中国各地で講演されました。現在寛先生（ヨーロッパ）が出張中です。

☺ 続いてホットニュース。平井先生が本年四月付で教授（材料学講座）になられました。杜春会会員の本学科教授第1号です。心からお祝い申し上げるとともに、今後一層の御活躍を期待したいと存じます。また本年3月大学院後期（博士）課程を修了した植松康君が防災工学講座の助手に任用されました。

本年3月の学部卒業生（49名）と前期（修士）課程修了生（18名）の進路状況をお知らせします。学部卒業生は、建設会社12名（構造・施工10、設計1、設備1）；設計事務所7名（構造3）；官公庁9名；重工、材料、住宅関係企業各1名；電力、不動産関係企業各2名；本学大学院14名です。前期課程修了性は、建設会社9名（構造4、設計5）；設計事務所2名；官公庁2名；重工、住宅関係企業各1名；研究生1名；後期得程進学2名です。昨年は求人件数はむしろ多い方でしたが、企業側の対応はなかなか厳しかったようです。この3月で杜春会会員総数1,250名となりました。

今秋の学会と併せ懇親会も催される予定です。これを期に学会員に限らず多数の杜春会会員が参加され交流を深めたいと幹事一同願っております。

（杜春会総務 山田大彦記）

会費納入のお願い

☺ 57年度の会費納入をお願い致します。何かと出費多端の折、またお手数をわずらわせますが何卒同封の請求書に合せて納付されますようお願い致します。なお、請求額等に間違いがございましたら事務局まで御一報願います。

また、杜春会への電話連絡は月～金（14:00～17:00）にお願いします。

会員の消息をお知らせ下さい。

昨年暮、名簿をお届けしましたが、未だに住所不明のまま空欄になっている会員がおら

れます。名簿をご覧になって御存知でしたら事務局までお知らせ下さい。なお、使い易い名簿作りを目指していますので、名簿に関しての御意見をお待ちしております。

(数字は回生を示します。*は勤務先も不明の方です)

- (1) 福地留助
- (2) 菊地四郎 山岸和夫*
- (4) 館林滋郎*
- (5) 伊藤一郎
- (7) 三瓶 学 高橋三郎 森 隆
- (8) 石原正能 大森睦夫* 加藤一民 窪田 宏
- (10) 石垣伸也 千田信彦
- (11) 天野泰資 内ヶ崎秀次郎 川崎欽司 菊地博光 平山敬二 湊 彬
宮沢正勝 渡辺光弥
- (13) 伊倉邦人 井上 健 加藤 弘 小林 孝 斎藤芳徳 坂田健二 円谷和彦
藤井靖弘 宮口邦夫 山田捷夫 大和毅一
- (14) 江幡正之 遠藤 勇 大塚 将 日下 譲 宮本 忠
- (15) 平栗橙史*
- (16) 宇賀神俊一 岡山忠雄 小野 充 沢田義弘 相馬邦彦 半田四郎
本城信之
- (17) 石井 均 伊藤 功 小野節夫 清水信行 平沢 薫 武藤尤一 松本威昭
- (18) 伊藤 隆 遠藤 聡 今野雅方* 公村静夫 中山照雄 松永善男 松本充興
- (19) 大沢章二 小保方広美 小松 勢 小梅雄次 三部佳英 野村竜児
- (20) 北村真一 窪谷博道 白井功一 館盛 晃* 肥後哲郎 米山純夫
- (21) 斎藤正好 佐々木英二 清水正三 玉木正夫* 松田康志 森 洋二
- (22) 茨木 保 岡 誠一 後藤 仁 福島 孝 松本潤一
- (23) 大貫 忠 源栄正人 富田知己 中島裕治 野沢謙治*
- (24) 色川和男 親松敏和 善林 昭 田近伸和 田中明彦 中塚芳信 平尾淳子
藤沢啓一 望月常弥 柳原武義
- (25) 石黒正直 小山田周知 川又 勤 加藤正市 菅原孝夫 富久宗郎
永井 仁 堀江章彦 宮本 久 渡辺 勉
- (26) 榊田淳一
- (27) 沼尾達弥
- (28) 和泉昭順 黒田 繁 高橋 靖
- (29) 秋山純一* 佐藤 強 寺本剛啓

以 上